

第6学年東組 道徳科学習指導案

「僕が思う、私が思う『リーダー像』」

学習指導者 岡根 平

1 学級（34名）の実態

（１）方法の習得を目指す自己調整力に関する実態

〔自らの学びを正確に捉える力〕

昨年度、「学習前と学習後の自分の考えを比較し、異同を捉える」という方法の習得を目指して道徳科の学習を行っており、学びを振り返る際にはこれまでの自分を見つめながら考えることを意識できている子供が多い。しかし「道徳科の時間にできた（できなかった）理由を考えている」と答えた子供は26名であった。授業でも、自分がどういう学び方をしていたのかにまで言及して振り返っている子供は少ない。

（２）教科に関する学級の実態

6年生になり校内の様々な活動に意欲的に取り組んでいる。しかし、自分が学校のリーダーとしての役割を果たしているかについて「100%」と答えた子供は4名であり、多くの子供がリーダーとして思い描く姿に向けて足りない部分があると感じていることが伺える。また、「リーダーに必要なのは、どんな力だと思いますか」という質問（複数回答可）については、「親切、思いやり」が30名、「集団をよりよくしたいという心」「友情、信頼する心」が18名、「善悪の判断力、自律」「公正、公平」が17名であった。

習得を目指す「自らの学びを正確に捉える方法」

自分が大切にしたい学び方について振り返る

2 本単元で目指す『多様な他者と共に、自ら学びを進める子供』の姿

本単元では、最高学年となった自分たちの姿を自己評価した質問紙調査の結果を見て感じたことを話し合い、リーダーについて考えていく意欲を高める。そして、複数の内容項目についての学習を通して、様々な道徳的諸価値の理解を基に、最高学年としての役割について考えを深めることを目指す。

単元の初め、リーダーとして自分が大切だと思う内容項目について質問紙調査の結果を見た子供たちは、多くの人が必要だと考えている内容項目について考えたいという思いをもち、学習の見通しをもつ。そして、人物の心情などについて想像するなどして教材の問題場面を把握し、自分自身の問題として捉えた後、考えたことを友達と交流しながら、道徳的価値について多面的・多角的に理解を深めていく。その後、捉えた道徳的価値の理解を基に、これまでの自分を見つめながらリーダーとして自分が大切にしたいことについて考えていく。例えば、「思いやり」について考えた際には「僕も低学年の子の立場に立って相手のしたいことを大切にしたいな」「そうだね。でも自分が『してあげている』のではなくて、その子のために『自分がしたい』と思って行動することが大切だと思ったよ。相手のために必要なことは何かと考えることが本当の思いやりだと思うよ」「そうか。今まで困っていたら何でもやってあげていたけど、その子のために手伝う方がいいか、やり方を教える方がいいかを考えるようにしたいな」などと話し合い、考えを深めていくのである。そして、自らの学び方についても振り返っていく。その際には、道徳科の学習を行う上で自分が大切にしたい学び方について「今日は、『違う立場の考えの人の話を聞く』ができたよ」

「『普段の〇〇の場面だったらと考える』はできなかったから次は意識しよう。でも、『もし自分だったらと考える』はできたよ」などと、具体的な姿を思い浮かべながら学び方も正確に捉えていくのである。

このような学習を通して子供たちは、最高学年としての自己の生き方についての目標や課題を見付け、自らの役割を意識しながら、考えた自己のよりよい生き方を実現していこうとする思いを高め、リーダーとしての役割を果たそうとしていくだろう。

3 単元計画と単元構成の工夫（本時 3/5）

次	学習の流れ	単元構成の工夫
一	① 学活リーダーについて考えよう 学校生活を振り返り、学校のリーダーとして、どのような自分でありたいかについて事前に考えたことを共有する。そして、学習したことを基に「自分が学校のリーダーとして大切にしたいことを考える」という単元の目標を設定する。その後、リーダーに必要なと思う内容項目についての結果を提示し、多くの人が必要だと考えたものから道徳科で考えていくという単元の見通しをもつ。	【達成意欲を高める目標共有の工夫】① ①時の始めに、自分たちが行事の準備や委員会などに取り組んでいる写真を見せ、最高学年としての活動が増えていることや、その取り組み方を想起させる。そして事前にとった「自分はリーダーとしての役割を果たせていると思うか」「自分が思うリーダーとはどんな人か」の質問紙調査の結果を示し、リーダーとしてまだ足りていない部分があると考えた人が多くいることやそう考える理由、人それぞれが考えるリーダーのイメージの多様さを捉える。そして、「自分が学校のリーダーとして大切にしたいことを考える」という単元の目標を設定し、様々な視点で自分を見つめていく時間である道徳の時間に複数の教材からリーダーとしての在り方について考えていくという学習の見通しをもつ。また、質問紙調査の結果から、どの内容項目について考えていくかを全体で話し合うことで、教材への自我関与を促し、意欲や関心をもって学びに向かえるようにする。
	② なぜジョルジュじいさんはおくりものを明かさなかったのだろう ～『最後のおくりもの』【B親切、思いやり】～ 事前に読んだ『最後のおくりもの』の内容を整理した後、なぜ、ジョルジュじいさんは自分が贈り物をしていたことを明かしてこなかったのかを話し合い、本当の思いやりとは何か考え、これからの自分を見つめる。 ③ 自分ならキャプテンとしてどうするだろう ～『最後のリレー（NHK for school）』【B友情、信頼】【Cより良い学校生活、集団生活の充実】～ 親友のけがのことを伝えるかどうかで悩む主人公の葛藤を想像し、自分なら監督に伝えるかどうか友達と話し合うことを通して、集団での自分の役割を果たすためには、様々な状況を考慮し、取るべき行動を考えて判断することの大切さに気づき、これからの自分を見つめる。	
二	④ ルースはなぜ、勝てるはずのない裁判を闘ったのだろう ～『未来への裁判』【C公平、公正、社会正義】～ 周りの反対を押し切ってまでも、差別や偏見と闘ったルースの姿から、自分が正しいと思ったことは進んで行おうとすることの大切さとその難しさに気づき、これからの自分を見つめる。	【子供が自ら選択して、学びを進める場】⑤ 単元の最後には、これまでの学習を通して考えた自分が思うリーダーについてまとめ、これからの学校生活における自己を見つめる場を設定する。その際、子供たちがリーダーとして必要だと考えている内容項目についての読み物資料や、動画教材、伝記などの書籍を教師が用意しておく。その中から、自分が考えたい内容項目を選び、教材からそれぞれが捉えたことを共有することで、考えを広げられるようにする。教材は質問紙調査の結果を基に、子供がリーダーとして必要だと考えていた内容項目についての教材を用意し、一人一人の必要に応じて選択できるようにしておく。
	⑤ リーダーとして大切にしたいことをまとめよう これまでの学習での学びを振り返り、もっと自分が考えたい内容項目について、読み物資料や動画、偉人などの伝記や考え方を紹介した書籍などから教材を選び、リーダーとして大切なことは何か考えていく。最後にはそれぞれが教材から考えたことを全体で共有し、これまでの学習を通して自分が考えたことを振り返りながら、これからの自分を見つめる。	
三		 【子供に配布する教材一覧表の一部】

4 方法の習得の段階に合わせた手立て 【学び方チェックシート】②～⑤

認知段階	想起段階②～⑤
本単元までに、自分が大切にしたい学び方を視点として今日の学習を振り返るという方法を教示し、経験させているとともに「次の学習に生かせる」など方法のよさも教示している。	見通し場面で、本時意識したい学び方について考え、それを出る場を設ける。そして、振り返り場面で「今日の学習を振り返ろう」と指示し、マイスタディログを使うことで方法を想起し、学び方について自分から振り返ることができるようにする。

5 本時の学習

目標	親友のけがを伝えるかどうか葛藤する主人公と自分を重ね合わせ、自分ならどうするか友達と話し合うことで、友達の思いを大切にしたり自分の役割を果たそうとしたりする大切さなどに気づき、自分がリーダーとして大切にしたいことを考え、それを実践していこうとする態度を養う。
----	---

学習活動と手立て		主な子供の意識
見 通 し	1 内容を確認し、監督に伝えるかどうか悩んでいるキャプテンの心情を想像する。	これまで、リーダーとして大切にしていきたいことを考えてきたよ。今日は「友情」や「集団をよりよくする心」について考えるんだっけ。 前は「もし自分だったら」「これまでに同じようなことがないか考える」ことができたよ。ことができなかったから今日は意識しよう。 コジマ君は、親友のけがのことを監督に伝えるかどうか悩んでいたね。 僕も友達の約束と委員会の仕事のどちらを優先するか悩んだことがあるよ。 自分ならキャプテンとしてどうするだろう
	2 自分がキャプテンと同じ立場ならどうするか選び、その理由を交流する。 ・友達と ・全体で	僕は絶対伝えるな。親友と一緒に走りたい気持ちには分かるけど、キャプテンとして、チームの優勝を一番に考えるべきだと思うよ。 私も伝えるよ。いつも一緒にいる親友だからこそ、これからのことを考えて無理しないように説得することが自分のすべきことだと思うよ。 悩むけど少し伝える側に近いかな。他の3年生も親友と同じように頑張ってきたんだから、みんなの思いを大切にすべきだと思うよ。 僕は伝えないと思う。確かに勝つ確率が低くなるかもしれないけど、走れなかったら親友も自分も後悔すると思うから。 確かにチームのことだけでなく、親友の今後のためにも伝えた方がいいね。 もちろんチームも大切だけど、一人一人を大切に判断することが大切だと思うな。 やっぱり、メンバー一人一人の気持ちを背負って判断することが大切だと思うよ。 その時の状況を考えて、みんなが納得する答えを出すことが大切なんだね。 みんなで話し合ったことを基に、自分がリーダーとして大切にしたいことを考えよう。
行 動	3 考えたことを基に、リーダーとして大切にしたいことをまとめる。	僕は、一人一人の考えを尊重することが大切だと思うよ。その結果どちらかを選ぶことになっても、みんなの意見を受け止めて判断することを、委員会でも気を付けよう。 私は、リーダーには集団全体を見る力が大切だと思ったよ。一人の意見だけでなく、状況を見ながらみんなが納得することは何か考えて判断する力が信頼されるために必要だと思ったよ。
	4 本時の学び方を振り返る。 【学び方チェックシート】	今日は「もし自分だったら」と意識しながら考えることができたよ。だから考えを作ることができたよ。 今日は3人には聞けたけど、違う立場の考えを聞いていなかったな。次の授業では気を付けて取り組もう。 次は「公平・公正」についてだね。次もリーダーとして大切なことは何か考えていきたいな。そのために今日振り返った学び方を次も意識していこう。
振 り 返 り		

評価	自分が同じ立場だったらどうするか話し合うことを通して、集団での自分の役割について多面的・多角的に考えたことを基に、これからの自己の生き方についての考えを深めている。また、本時の学び方について、自分が選んだ視点を基に自己評価している。【方法：発言、様相、記述】
----	---

6 本時の詳細

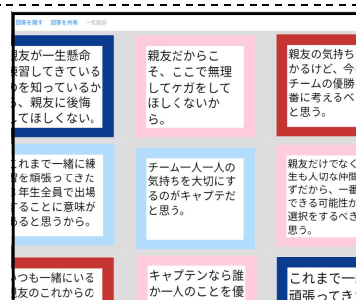
～見通し～ 学習活動 1

単元を通して「これから自分が学校のリーダーとして大切にしていきたいことを考える」という目標に向かって学習に取り組んでいる。

本時ではまず、単元の目標を確認し、今日も教材を通して捉えた道徳的価値の理解を基に、リーダーとして大切にしていきたいことを考えていくことを確認する。黒板には、単元の目標を掲示しておき、常に目標を意識しながら学習に取り組めるようにする。そして、毎時間使っているマイスタディログ（「リーダーとして大切にしたいことを記述するシート」と「学び方チェックシート」をまとめたもの）を確認し学習を振り返る。そして、前回の自己評価を基に、本時意識したい学び方を表出させることで、その学び方を意識しながら本時の学習に取り組めるようにする。そして、友達との約束と委員会の仕事のどちらを優先するかで悩んだ経験が自分たちにもあったことを想起させた後、事前に視聴した動画教材の問題場面を把握することで、キャプテンの心情に共感しながら、教材への自我関与を促し、自分ならキャプテンとしてどうするかという目当てを設定する。

～行 動～ 学習活動 2

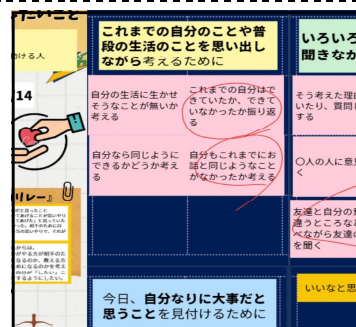
親友のけがのことを監督に伝えるかどうかについて、自分がキャプテンだったらどうするか考える場を設定する。学習支援アプリを使い、自分の考えに一番近い色の付箋を選んで立場を表すとともに、そう考えた理由を記述できるようにする。選択肢は「伝える（赤）」「どちらかという伝える（桃）」「どちらかという伝えない（水色）」「伝えない（青）」の四択を提示し、選ばせることで、自分の考えにより近いものを表出できるようにしておく。自分の考えがもちにくい子供には、机間指導の際に伝えたら（伝えなかったら）どうなるか口頭で問いかけ、そう考えた理由を表出させ、付箋に書くように促す。理由を記述した付箋は学習支援アプリ上で提出し、一覧できるようにすることで、友達の立場や考えを一目で分かるようにし、意見を交流する際に誰の意見を聞きに行けばよいか相手を選ぶ際の根拠となるようにする。誰と交流しようか悩んでいる子供には、学び方チェックシートを見て、どのような交流をしようとしているかを確認し、それに適した相手を教師がつなぐことで、交流できるように支援する。



その後、全体で考えたことを共有する。それぞれの立場の意見を表出させるとともに、対立する考えを明確にし、教師がその点から問い返すことで、自分の考えをより深めていけるようにする。

～振り返り～ 学習活動 3・4 【学び方チェックシート】

単元を通して、道徳性を養うための道徳科学習の四つの視点に沿って学習を振り返られるよう「リーダーとして大切にしたいこと」を記録するシートと「学び方チェックシート」をまとめたマイスタディログを使って学習を振り返っている。そのうち「学び方チェックシート」は、「これまでの自分のことや普段の生活のことを思い出しながら考えるために」「いろいろな立場の意見を聞きながら考えるために」「今日、自分なりに大事だと思うことを見付けるために」の三つの視点についてよりよい学びにつながりそうな学び方を子供自身が選び、振り返る際の具体的な視点として各自設定している。本時できた学び方に丸を付けることで、学び方についてよかったことや課題を捉え、次回の学習でも意識し、活かすことができるようにする。



【学び方チェックシートの一部】

本時では、目当てについて全体で話し合った後「今日の授業について振り返ろう」と指示することで、今日学習したことを通して考えたリーダーとして大切にしたいことを友達と交流しながらまとめていくとともに、記述後には自分で方法を想起しながら学び方についても振り返ることができるようにする。方法を想起できていない子供には個別に声をかけ、前回の振り返りの様子について想起させたり、教室内の掲示物を一緒に確認したりするなどの個別支援を行う。